

1 調査名称：もりおか交通戦略次期計画策定業務委託

2 調査主体：岩手県盛岡市

3 調査圏域：盛岡都市圏

4 調査期間：令和2年7月21日～令和3年3月31日

5 調査概要：

本市では、盛岡市総合交通計画の方針に基づき、これまで取組んできた将来道路網計画や公共交通施策からの課題を背景とし、公共交通や自転車の利用促進のための「具体的な交通施策の立案」と、これらの施策を支える「将来道路網計画の検証」を目的とし、平成21年10月「もりおか交通戦略」を策定。

もりおか交通戦略（第一期）の策定から10年が経過し、その間、本市においては、令和元年11月にコンパクトシティの実現に向けたまちづくりとの連携、公共交通手段の適切な選択と組み合わせ、市民、交通事業者、行政などの関係者の連携により地域のニーズに合わせた効率的で持続可能な地域公共交通網形成を図る「盛岡市地域公共交通網形成計画」が策定。また、令和2年3月には、住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化を図るため「盛岡市立地適正化計画」が策定された。

これらを踏まえ、もりおか交通戦略（第一期）の施策の進捗状況、目標達成度評価の結果及び、「盛岡市地域公共交通網形成計画」や「盛岡市立地適正化計画」と整合し、掲げる施策との連携を図りながら、今後の人口減少・少子化・高齢化の中でも持続可能な「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市構造に向けて、もりおか交通戦略（第二期）の策定に向けた素案の作成を行う。

なお、素案の作成にあたり、盛岡市街路交通計画検討委員会にて策定方針、素案について委員会に諮った。

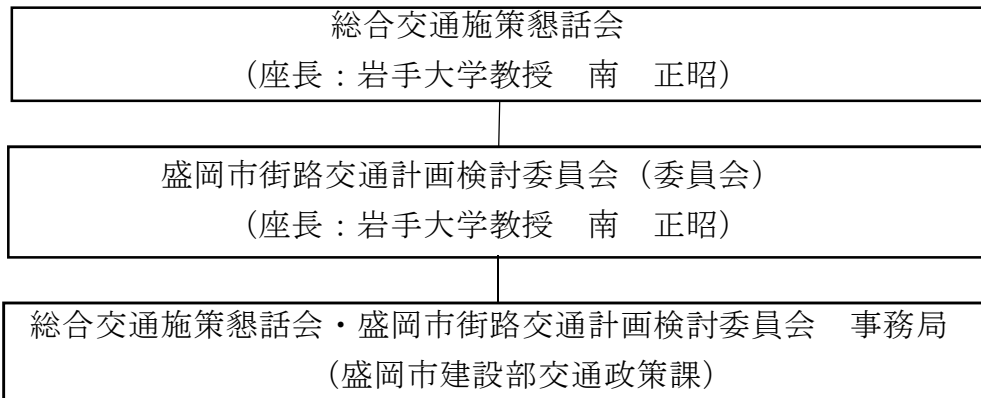
I 調査概要

1 調査名称 もりおか交通戦略次期計画策定業務委託

2 報告書目次

1. 業務概要
2. 将来交通量の時点修正
3. 将来道路網の検証
4. 上位計画及び関連計画等との整合・連携
5. 交通戦略施策の方向性の検討
6. 交通戦略目標の検討
7. 交通戦略個別施策の検討と効果検証
8. 段階的な道路網整備計画の設定
9. 盛岡市街路交通計画検討委員会資料作成

3 調査体制



4 委員会名簿等：

盛岡市街路交通計画検討委員会メンバー（令和3年3月時点）

属 性		氏 名	所 属 等
学識 経験者	委員長	南 正昭	岩手大学理工学部 教授
	委 員	元田 良孝	岩手県立大学 名誉教授
	〃	宇佐美 誠史	岩手県立大学総合政策学部 准教授
交通 関係	〃	井上 宏和	東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社企画部長
	〃	及川 得也	I G Rいわて銀河鉄道株式会社 運輸部長
	〃	伊藤 純	(公社) 岩手県バス協会 専務理事
	〃	佐々木 隆之	(公社) 岩手県トラック協会 専務理事
	〃	大野 尚彦	(一社) 盛岡地区タクシー協会 理事長
	〃	金澤 妃左子	岩手県自転車二輪車商業協同組合 理事長
行 政	〃	鈴木 之	国土交通省東北地方整備局 企画部広域計画課長
	〃	柳田 穰	国土交通省東北地方整備局 建政部都市・住宅整備課長
	〃	大澤 尚史	国土交通省東北地方整備局 道路部道路計画第二課長
	〃	平井 康幸	国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所長
	〃	坂崎 有理	国土交通省東北運輸局 交通政策部交通企画課長
	〃	及川 三千男	国土交通省東北運輸局 自動車交通部旅客第一課長
	〃	大水 直樹	国土交通省東北運輸局 岩手運輸支局長
	〃	中平 善伸	岩手県県土整備部長
	〃	佐々木 淳	岩手県ふるさと振興部長
	〃	佐藤 普	岩手県警察本部 交通部交通規制課長
〃	柴田 道明	盛岡市副市長	

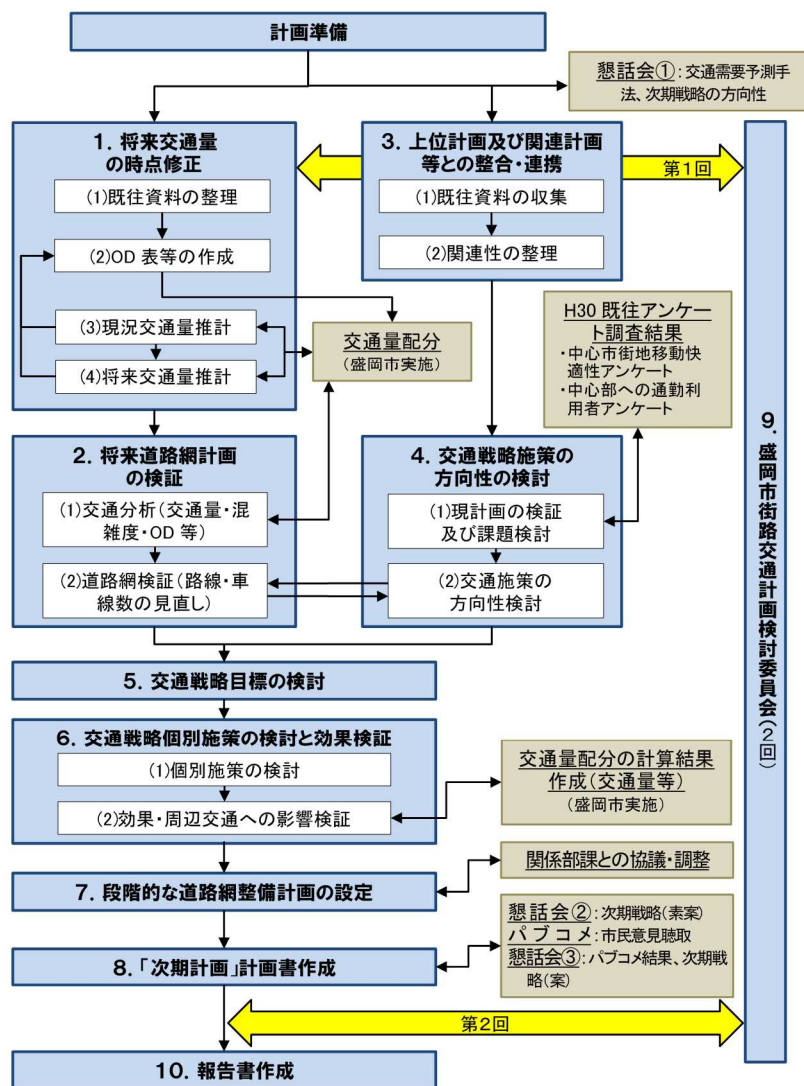
II 調査成果

1 調査目的

本調査では、平成21年10月「もりおか交通戦略」に策定された第一期計画以降の、社会情勢や道路整備状況、交通需要の変化等を整理したうえで、最新の将来交通量推計結果への時点修正を行った。一方、第一期計画以降に策定された上位計画、関連計画を整理し、今後の交通戦略の方向性の検討を行った。

これらを踏まえ、第二期計画の交通戦略の目標を設定し、目標達成のために実施すべき施策および求められる道路整備計画を検討し、「もりおか交通戦略（第二期）」の素案を取りまとめた。

2 調査フロー



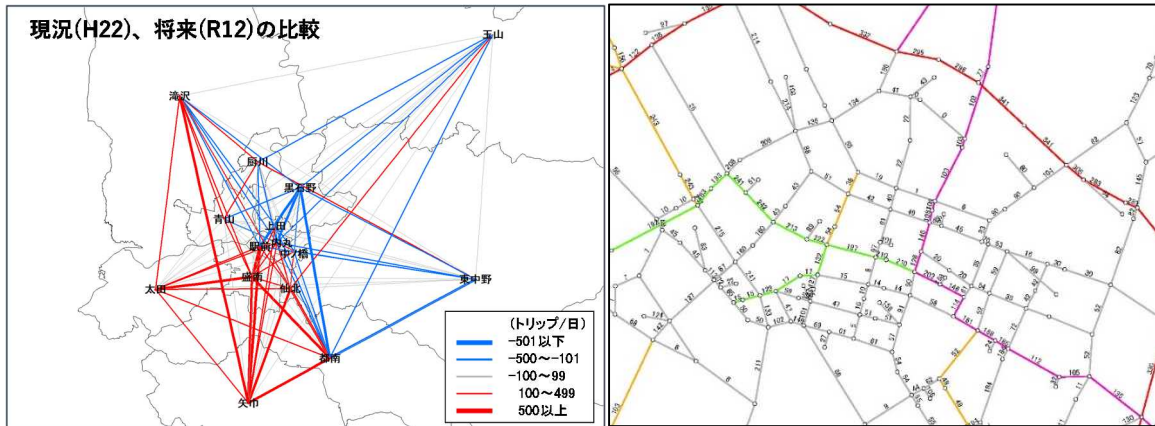
3 調査圏域図



4 調査成果

(1) 将来交通量の時点修正

盛岡市の将来交通状況を把握するため、交通量推計結果の時点修正を行った。時点修正では、最新の道路交通センサスを基に、将来 OD の作成、道路ネットワークの更新を行い、将来交通量を推計した。



(2) 将来道路網計画の検証

第一期計画において4車線整備が計画されている路線のうち、未整備道路を対象に、計画の見直しの必要性について検証を行った。

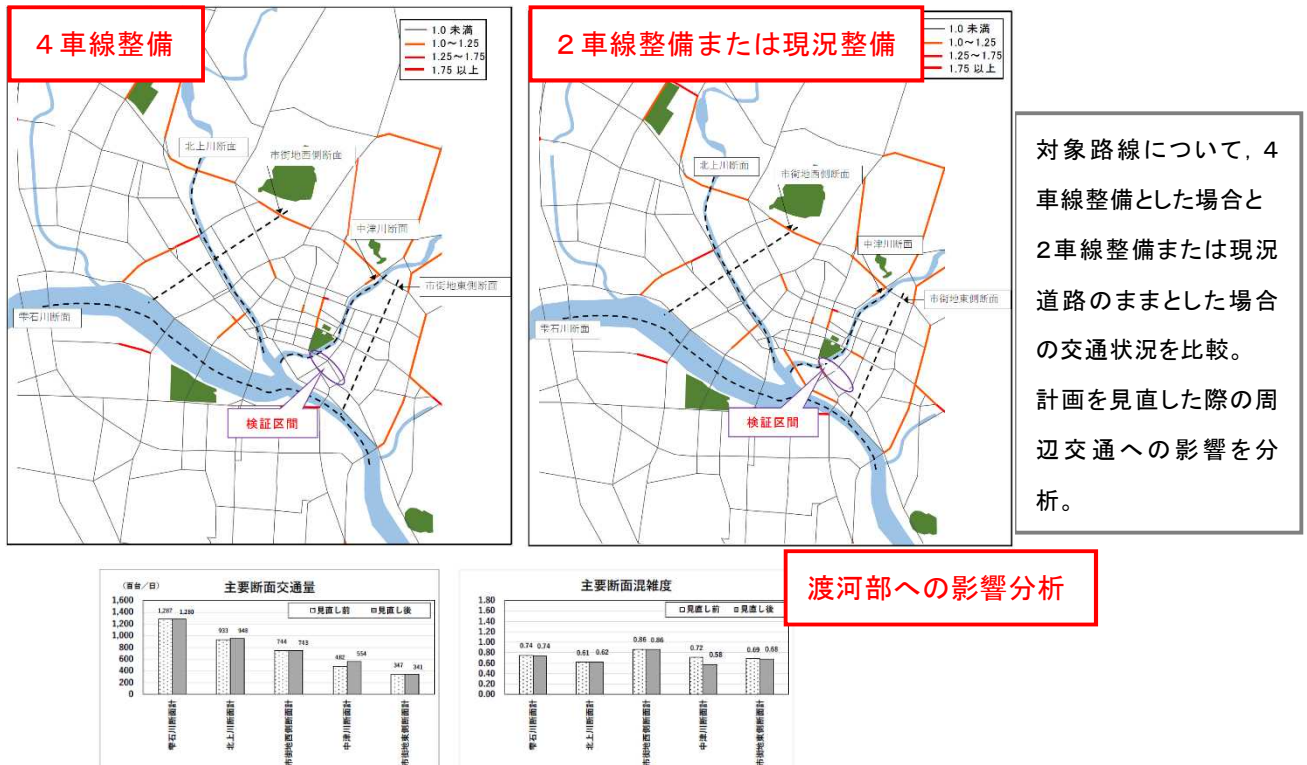


図3 盛岡駅南大通線の一部区間の見直し

(5) 交通戦略目標の検討

もりおか交通戦略(第二期)の目標は第一期の考え方を踏襲することを基本とし、安全性向上の指標を追加し、目標設定を行った。

表3 交通戦略(第二期)の目標

No.	交通戦略	戦略のねらい	目標
1	快適で安全に歩いて楽しむ中心市街地形成戦略	・歩行者や自転車が安心して快適に移動することができ、賑わいある空間を創出する(継続) ・歩行者・自転車が安全に通行できる空間を整備する(新規)	①中心市街地を快適に移動できると感じる人の割合を75%以上にする
			②中心市街地での歩行者・自転車が関連する交通事故発生件数を交通戦略(第二期)実施後5年間で20%以上、10年後の5年間では35%以上削減する
2	公共交通軸の充実・強化を図る戦略	・各地域と中心市街地を結ぶ公共交通軸を強化(継続) ・自家用車から公共交通機関へ転換(継続)	③中心市街地への通勤における自家用車利用者数の割合を28%以下にする(自家用車利用者数割合を28%にすることで、1日あたりのCO2排出量は約6t減少するものと試算される)

(6) 交通戦略個別施策の検討

目標達成に向け実施する、効果的で効率的かつ実現可能な個別施策を検討した。



図5 個別施策の検討（快適で安全に歩いて楽しむ中心市街地形成戦略）

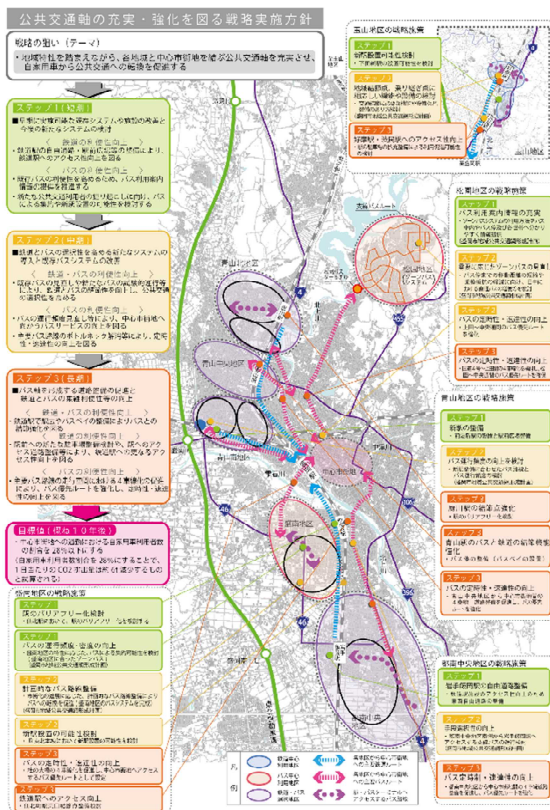


図6 個別施策の検討（公共交通軸の充実・強化を図る戦略）

(7) 段階的な道路網整備計画の設定

検討結果を踏まえ、概ね 25 年後を目標として形成を図る、新たな将来道路網計画の検討を行った。

路線機能	戦略施策との関係	路線名	区間
公共交通軸形成を図る道路	公共交通軸(青山)	向中野安倍館線	館坂橋～上堂
	公共交通軸(青山)	上堂鶉飼線	上堂～西警察署
	公共交通軸(都南)	向中野安倍館線	南大通～国道4号
	公共交通軸(松園)	本町上田線	上田一丁目～国道4号
	公共交通軸(盛南)	盛岡駅本宮線	杜の大橋
都心を囲む道路形成 (快適で安全に歩いて楽しむ中心市街地形成関連道路)	快適で安全に歩いて楽しむ中心市街地	盛岡駅南大通線	大沢川原一丁目～内丸
	快適で安全に歩いて楽しむ中心市街地	下ノ橋南大通線	内丸～南大通

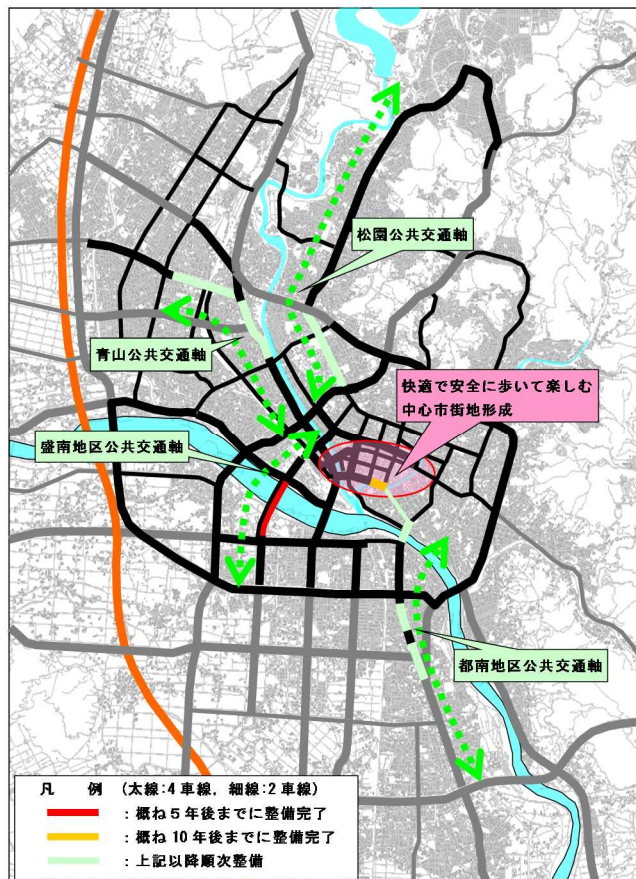


図7 段階的な道路網整備

(8) もりおか交通戦略 (第二期) 素案のとりまとめ

検討結果を踏まえ、もりおか交通戦略 (第二期) 素案のとりまとめを行った。